

# OUJ神奈川学習センター なつだより

通巻第51号

2012年7月21日発行

発行:放送大学神奈川学習センター

〒232-0061 横浜市南区大岡2-31-1

tel:045-710-1910 fax:045-710-1914



サンゴ礁(タイ アンダマン 2~3ページに関連記事)

	サンゴ～海へのいざない	2～3
	面接授業感想 「妖怪の文化学その2」を受講して 「イタリア歌曲～唱えるから歌うへ」 「ウォーキングは生涯スポーツ」を受講して	4～7
目次	赤ちゃんに呼ばれた助産師～私の入学動機	8～9
	皆さんから愛された吉田昭二さん	10
	学習センターニュース (藤原客員教授講演会／国際交流報告／同窓会主催講演会／ 南署災害時代替施設協定／所長主催『研究発表会』)	11～12
	Kーサポートからのお知らせ／そのほかのお知らせ	13
	学生サークルからのお知らせ／神奈川同窓会だより	14～15
	学習センターからのお知らせ	16

神奈川(あまごからい)



## サンゴ～海へのいざない

田丸 重男

### ◆はじめに

45年前、文系の大学卒業後、外資系企業に就職、若干早い早期退職を選択し、直ぐに大型バイクの免許、一級小型船舶操縦免許を習得し、陸、海を疾走するワイルドな世界を楽しみ、更には海の中へとダイビング、己事究明の禅の世界へとめり込むなど、現役の頃には予想もしなかった我が人生に大変満足しています。極めつけは、ダイビングの延長線上にあった、サンゴの生態研究で大学院・修士課程を卒業したことは想定外であり人生とは極めて面白・可笑しく楽しいものであることを実感しています。一方、傍から見れば気が狂ったと思われるかもしれない行動を我が女房殿に理解してもらうため一回は必ず一緒に行動を共にして体現してもらい、かつその場で仲間を紹介し交流を図った事が幸いにも三行半を突き付けられずに今日に至っています。

### ◆放送大学との接点

禅寺や海の中で思うことは、自分とは何者か、生命の起源は、宇宙誕生は、この森羅万象の世界をひも解きたく、放送大学・大学院の選科生に身を置き、自然環境科学分野を学習する度に、学んだ事柄が串団子の様にそれぞれが関係していることに気づき更なる学習意欲が沸いてきました。

禅宗の般若心経、“色不異空……空即是色”、“不生不滅……不増不減”の言説は、量子力学の最小単位と同根に思え、在るでも無、無でも在る世界に辿り着きます。坐禅を嗜むことによって瞬間的に無の境地に入り、そして自然との一体感が得られます。心を落ち着け、忘我の心境に入れば嫌な事など消し飛び、新たな気持ちで次の始まりが期待できます。

このような世界が、海の中でも体験でき、気の休まる幸せな気分になります。坐禅とダイビングは共通項があると

思っています。坐る時間、潜る時間共に40分程度、呼吸も複式呼吸で吐き出す息を長くするのも同じ、又ほぼ音の無



おっさん顔Ⅰ“メガネモチウオ”(2009パラオ)

い世界に身を委ねます。坐禅の目的は“己自究明”ただ只管に座り続けます。海の中は母体の羊水の中に居るような感覚で、遙か遠い昔に書き込まれたDNAが囁きかけてくるような気がします。

私達の祖先は海から陸に上った生物が進化を重ねて現在に至っています。海の中で見る魚の顔は時として人間顔に見えてくるのが不思議でたまりませんし、そうした魚と触合うことも楽しみの一つです。



おっさん顔Ⅱ“マダラトビエイ”(2007サイパン)



貴婦人“ミカズキツバメウオ”(2009パラオ)

### ◆サンゴの生態研究

海の中で素早く活動する魚の写真を撮るのはとても難しいものです。魚を追い掛け回し、待ち伏せしても殆んどピンボケ状態で、何時しか比較的失敗の無い動かぬ海洋生物、即ち色鮮やかな軟体サンゴ、形状の違いを見せるサンゴに興味に移り、潜る度毎に写真を撮り続け整理仕切れぬほどサンゴの写真が溜ってしまいました。修士課程に必要な単位が取れる頃、大学院でこれらの撮りためた写真を基にサンゴの生態研究が出来るのではないかと思います、修士全科生として入学、それなりの大変さはありましたが、60数年の長い人生の中でこの研究に掛けた二年間はとても充実した毎日でした。

日本で大規模なサンゴ礁が観察できる地域は琉球列島と小笠原諸島に限られます。両方共に潜って観察・写真撮影をしてみて感じたことは西太平洋に棲息するサンゴの亜流であり、種の数も減少してくるので源流管理に基づき再三訪問している西太平洋のサンゴ礁を選定し当課題研究に取り組みました。主としてフィールドワークが多くその都度メモや写真を残し、そこで気付いた疑問や問題点などを足掛かりに国立国会図書館に赴き、図鑑や参考文献・先行資料など調べていく楽しさも味わえ私にとってフィールドワークの意義は極めて高いものでありました。

研究の目的は将来における同地域のサンゴ礁域



の生態分布の状況記録を写真や観察メモ、地形図、深度グラフ等後世の人達に伝え残せる事が重要と思ひ、主要な内容は数千枚の水中写真の造礁サンゴを出来るだけ多く取り上げその生息地域の生態状況や環境、目視観察など通して得られた情報を整理し取り上げてみました。

また、造礁サンゴの自前写真は科・属・種毎に整理、更に各地域の素晴らしいサンゴ礁の景観を記録媒体としてDVDに収録し修論レポートに付録として添付しました。

固着生物のサンゴは物を言えずその場から逃げだすことも出来ずじっと耐えながら生息しています。今は禁止されていますが、ここ数年前まで実際行われていたダイナマイト漁法などはサンゴ礁破壊の極め付けであり、その惨状は極めてひどいものでありました。あたり一面サンゴの残骸で特にミドリイシ属の枝サンゴの多い地域はさながら動物の骨が散乱している様はサンゴの墓場の様でした。枝サンゴを格好の隠れ家とする小魚を狙う中・大型の魚が集まるのでそれらを一毛打尽サンゴもろとも根こそぎ破壊する手法ですからたまりません。



”サンゴの墓場“  
(2009 マプール・シバダン)

こうした瓦礫化した中にも僅かながらサンゴの幼生プラヌラが着底し新たな命の芽生えを目視すると心が和みます。サンゴ礁形成に至るまでには相当数の年数が掛かりますが、こうした事実があったことも記録として残しておくのも重要と考えています。

また白化しているサンゴをあらゆる海域で目撃するのは常として、不思議なことは白化の状況が一面ではなく散在、或いは点在しているのです。辺り一面、白化が進行しているのであれば温暖化が考えられるのですが、点在となるとちょっと様子が違うので特に疑問符を持ちながら注視しています。何故かは今後の研究に委ねますが目視観察では病気やストレス、他生物による食害や人害等が考えられますが、視点を変えて考察して見るのも一つの方法でありこれは現在ライフワークの一つとして継続研究しています。



”サンゴの白化“  
(2009 サイパン・オレアイ沖)

細かな砂の様な懸濁物がサンゴの表面に付着して

いる状況も度々目視することがあります。キクメイシ科のサンゴは表面を粘膜で覆い懸濁物の侵入を排除する術を持ち合わせていますがこれすらサンゴに過大のストレスを与えています。各様にサンゴ礁域のサンゴは人間の攪乱によりその生息域での生存を危ぶらせていることは毎回潜る度に感じ心を痛めています。

サンゴ礁生態系を維持していくことは我々人類にとって大変重要です。既にその一部分について警鐘を鳴らされていることを自覚せねばならないのです。課題研究の被写体となったサンゴ達が何時までもその場で現存していける環境づくりに貢献していきたいと願ってやみません。実感できる陸域の世界とは一線を画する海洋の世界では今刻々と変化していくサンゴ礁の状況や、同時に現存のサンゴが美しく成長している様や異種サンゴ同士の凌ぎあい、闘ぎ合い等の生存競争の写真を記録として残しておくのも大切であると考えています。



”懸濁物に覆われたアザミサンゴ“  
(2010パラオ・ジャーマンチャネル)



”三つ巴の闘争(左から、シコロサンゴ、キクメイシ、ミドリイシ)“  
(2009 アプール・パラダイスII)

#### ◆おわりに

現在もサンゴの生息する海外や沖縄の海にダイビングに出掛け珍しいサンゴの写真を撮り続けています。種の同定を通して新種のサンゴ発見を目指して体力の続く限りサンゴの生態研究はライフワークとして続けてまいります。この度は、Kサポートのご縁で、非日常の海の世界の一端を紹介出来た事を感謝申し上げます。

尚、学部生の皆様方が、今後、より専門的に興味のある分野へ一人でも多く修士課程への課題研究へ取り組まれることを心より願っています。



クマミ (2007 セブ・イラク)

## 妖怪の文化学その2を受講して

井上真利／越智典子

4月28・29日というゴールデンウィーク中にもかかわらず、100人程の老若男女といった年齢層も幅広い生徒さん達が集まっていました。

私の中では妖怪というとゲゲゲ鬼太郎・妖怪人間ベム・どろろんえんまくんといったアニメか百鬼夜行ぐらいでしたので、どんな講義なのか興味しんしんでした。

第1回「妖怪とは何か 過去のアプローチから」では妖怪というキャラクターされた言葉は明治の定着と知り、思ったより新しい言葉だと初めて知りました。中世の妖怪は不思議な現象の事を指していたそうで、時代により変化(進化?)しているなどとは全く思ってもいない事でした。

日常の中の不思議、不視可で表現していた現象を可視化し恐怖が形になったものが幽霊あるいは妖怪のはじまりという事について私は、正体がわからない恐怖は昔も今も耐えられない人の気持ちは同じなのだなと思いました。

こっくりさん・口裂け女を例にその場所・その時代に住んでいる人の心の在り方の形として妖怪の出現が変化している様子が、こんなにも違ってくるのが面白くもあり逆に怖くもありました。

例えばこっくりさんは外国から19世紀末～20世紀初めにてきたテーブルターニングで日本に伝わるころにはテーブルがこっくり、こっくり揺れるので擬態語から「狐狸狗」と字があてがわれ近世から続く動物霊信仰・憑物信仰と結びつき私達が知るこっくりさんになっていく経緯には驚くばかりでした。

また著名人の妖怪観についての様々なアプローチがあり、例えば井上円了は無意識の心理的動揺のもとづく無意識の筋肉運動と説き、柳田国男は零落した神々が妖怪となる考え、井之口章次は御霊信仰・祖霊信仰によりもとは神、もとは人であるとし、宮田登は都市住民の噂からなる。といった著名人の考え方は、物理的・科学・宗教・哲学・メディアと関わり妖怪とは何か?と改めて考えさせられました。

第2回「妖怪とは何か 現代のアプローチから」では幽霊と妖怪の違いの定義について京極夏彦や柳田国男といった時代の異なる小説家の立場から見た比較や考えを見ました。柳田国男は幽霊は場所は不

特定。対象は特定。時間は丑三つ時。妖怪は場所は特定。対象は不特定。時間は薄明かり。に出現すると両者の違いをのべました。

京極夏彦は死者の霊(幽霊)の固有名詞が消滅し属性になり、一般化・抽象化したときに妖怪になると語っています。その時代ならではの答えであり、将来はもっと違ったアプローチになるであろうと思うと、世相・メディアによって新たな妖怪がいつの時代も出てくるのだろうなと思いました。

第3回「妖怪表象の背景について 河童を例として」では今の河童のイメージが江戸時代の中期にできた事を知ることができました。河童の性格も水の豊かな地域では人に最初から好意的である話が多く、逆に人工灌漑地域では攻撃的であり、これらの違いは江戸時代の大規模な水利工事と関わりがあり、人種差別的な考えも含まれていたともいっていただけでした。不可思議な水の事故から河童を創造する契機となり物語・ビジュアル化され地方から中央へ情報が集まり、中央へ集まった情報が地方へ伝達される事により共通性を持つ河童伝説が全国に浸透していく過程は現代のようにテレビやパソコン・携帯電話のない時代にかかわらず、たくさんの人に伝わる不思議を感じました。

先生は河童の手を所有しているそうです。妖怪の文化学3の時にはぜひ、貴重な資料として見せていただきたいです。

第4回「時代の中の妖怪 江戸の妖怪革命」では江戸時代の出版技術とリテラシーの向上により、妖怪がキャラクターとして商品価値を持ち映像化して、より全国に広まり定着していき

ました。円山応挙が有名な幽霊の絵画を描き、林屋正蔵の落語からヒューどろどろという効果音と幽霊の手つきが生まれ・歌舞伎では怨霊を演じ、商品として妖怪を楽しむ過去にはない豊かな時代が日本にきたのだと感じ、また商人のたくましさ、時代に生きた人たちの活気が感じとることができました。

第5回「妖怪の地理学」異界と他界、そして境界民俗学では他界とは生まれる前、そして死後に我々が所属している時空間(観念的他界)と実存的他界、例えば墓・葬儀場(死)と田・村落(生)があり、異界とは





相対的な他界で妖怪は境界に現れ、その背景には霊山信仰・葉山信仰 道祖神・塞神が関連するのですが、先生が図で描いた表をノートで見直すとわかるのですが文章に起こそうとすると感想がうまく書けません。割愛します。

第6回「学校の怪談」ブームと90年代では1970年代のオカルトブームはメディアを通じて非日常的な断片化された知識が一般化した過程の中に妖怪も吸収され使いやすくなり、1990年代の学校の怪



一柳 廣孝 横浜国立大学教授

談ブームへと引き継がれる過程を見ていると、オカルトブームは経済的安定し、余裕が出てきたときに娯楽として大きなブームになるは江戸時代の妖怪革命と変わらないのではと思いました。

第7回「メディアの中の妖怪(1)」ではライトノベルからメディアミックス(エンターテインメント・ビジュアル重視)を通し、マンガ・ゲーム・アニメから十代の読者層へ情報発信されていく現代の妖怪について検証しました。学校を舞台にしたトイレの花子さん为例に、そこから民俗的妖怪、座敷わらし、トイレという場所、外(異界)への通路など学校は怪談話にかかせない存在であると再認識しました。私も子供の頃、通学していた小学校では怪談話がいくつもあったのを思い出し、話の内容は様々でも過去と現代の怪談には共通するものが多々あり、校舎が近代的に建て替えられても、学校の怪談はなくなると思いました。

第8回「メディアの中の妖怪(2)」ではコミック本のもっけというアニメを一話鑑賞しましたが鑑賞前に本のカバーのプリントが配られ想定イラストから発信される陰陽太極図・八卦鏡・主人公の姉妹の服装・表情等から物語の情報を読みとりつてから30分弱鑑賞しました。個人的には絵が可愛い過ぎて、私の子供のころのおどろおどろした妖怪アニメとは違うなという印象でしたが大人のいうことを聞かず、約束を守らないと怖い思いをするというパターンは今のアニメでも昔と変わらず、教訓的な作品でした。

全授業を通して感じたことは妖怪の文化学から中世から現代までの人々の生活・信仰・真実が妖怪という媒体を通じて歴史を見つめなおすことです。妖怪を通じた文化には史実にはない真実があるのではと感じました。

受講後、図書館で水木しげるの「妖怪になりたい」という本を借りました。ラバウルの戦争体験の話や南方の妖怪について読みすすむうちに、もっと違うものが見えてくるのではないかと感じられました。歴史を新しい視線で捉えることができるのが妖怪の文化学だと私は思いました。

(井上 真利)

妖怪の文化学その2を通じて、今現在、『妖怪』をあつかった作品はとて多く様々なものがアニメ化や書籍化しています。例えば、「お岩さん」や「お菊さん」などの女性の幽霊や、天狗、河童、こっくりさんを知らない人はいないと思います。

しかし、それが、どのように生まれ どの時代に流行し、今現代まで伝えられてきたのかと尋ねられると答えにつかえてしまいます。

今回の授業ではそんな妖怪の生いたち、ルーツを中心に、妖怪が過去から現代にいたるまで、どれだけの人に愛されてきたのかを学びました。

この授業では、昨年「妖怪の文化学」という面接授業があり、今回は、その続きの授業だったので、昨年の授業を受けていない人のために前回からの復習から始まりました。

妖怪とはどのようにして生まれたのか、から始まり、明治から始まった妖怪学と民俗学の生いたち。様々な視点、角度から「妖怪」というモノをとらえていく授業は、私には初めて聞く話ばかりでとても楽しかったです。

先生のお話はとっても分かりやすく面白。都市伝説から生まれた妖怪「口裂け女」の話は、当時の人々やメディアの様子をジョークや手振りをまじえて話しておられて、教室のあちこちで笑いがおこっていました。

過去の話だけでなく、現代のことにも注目されていて、ライトノベルやコミックなど若い人たちも共感できる話が多かったです。生徒のみなさんも年齢が実に様々でみんなこの授業を楽しくきいていました。

先生は、最後に「その3」が来年できればいいねとおっしゃっていただきました。是非、また来年も続けていってほしいと思います。

(越智 典子)



## 《バロック期のイタリア》を学ぶ (イタリア歌曲～唱えるから歌うへ) 中根 由紀子

神奈川学習センターにおける面接授業「イタリア歌曲～唱えるから歌うへ」(中嶋俊夫先生)を受講しました。この授業の最大の魅力は、イタリア歌曲を主に三つの方向から、多角的に学ぶことができる点にあると思います。

一つ目は、語学的な面です。イタリア語の基本的な読み方から始まり、すでに日本語に浸透している単語や、イタリア人の国民性に至るまでの幅広い話題を織り交ぜながら、たいへん面白い「イタリア語講座」を受けることができます。もちろん、ただ座って聴いているだけというのは許されません。学生は一人ひとり順番に、慣れないイタリア語の単語の発音に挑戦します。自分の順番が近づいてくるとドキドキしますが、知らない単語でも思い切って声に出して読んでみることで、発音を褒められたり、あるいは間違いを丁寧に直していただいたりと、放送授業では味わえない緊張感の中で、何かが確実に身につくのかを感じます。

二つ目は、音楽史的な面です。今回は、バロック時代に的を絞った講義でした。モンテヴェルディの



オペラ「オルフェオ」の映像を視聴し、古楽器の響きと当時の歌唱法を堪能しました。的を絞ったとは言っても、つねにバロック期が、現代やそのほかの時代とどのような距離にあり、どのように関わっているのかという大局的な視点が押さえられています。まるで大きな年表を見ながら、その時代をルーペで拡大しているような、非常に分かりやすい内容でした。

そして三つ目は、誰もが最高にドキドキする、



講師の中嶋 俊夫  
横浜国立大学准教授

実技・実践的な面です。三日間にわたる授業のうち、二日目と三日目は連続した日程ですが、初日から二日目までは一週間あけられています。この空白の一週間で、初日に与えられた三つの課題曲の中から一曲を選び、最終日に全員の前で発表するのです。授業の最初に習ったイタリア語の発音を用い、映像で視聴したバロック音楽の特徴を踏まえ、それらを実際に歌って表現しなければなりません。まさに総合的な仕上げの課題です。

さらに、完璧主義(?)でいらっしゃる中嶋先生は、バロック時代の雰囲気を感じ取るためとおっしゃって、古楽器リュートの奏者である佐藤亜紀子先生に、わざわざ神奈川学習センターまでご足労願ひ、私たち学生の拙い歌に、本物の古楽器での伴奏をつけてくださったのです。貴重な体験、など一言で済ますわけには行かないほどの驚きの演出で彩られた今回の面接授業は、私にとっては宝物のような、一生の思い出となりました。

(写真は、すべて8時限目の撮影です。)



リュート奏者の  
佐藤 亜紀子 さん





## 面接授業「ウォーキングは生涯スポーツ」を受講して

西野 敏男

講義の冒頭、明日の天気予報が強い雨になるようなので、明日の実習、横浜市内のウォーキングが出来そうにないので、スケジュールの変更が告げられる。

学習の基本概念「何時でも何処でも、手軽にできる運動・スポーツは、生涯スポーツではない。そんなに簡単ならば自己を研鑽するツールとはなり得ないし、学ぶ必要もない」との考えが示され、ウォーキングの実践



の効用を学び、非日常的なウォーキングが日常や自己を振り返る発展的な実践となることを知らされる。横歩幅との認識はなかったので新しい知識を得た。また、ひとは歩くとき同じ歩幅(寸法)で歩くことなど有りえないとあって、厳密な意味での

歩幅の認識はなかったので、学究的な歩幅の認識を得た。最初の実技学習で、各グループ毎に、渡された巻尺とマーカーを使って、受講生各人の歩行途中の3歩を計測する。この測定が意外と難しく正確な計測は出来ていなかったが、データ分析1の表に記録して、歩幅の



平均値、分散、標準偏差、変動係数を求める。続いて、学習センター前の街区一周(380m)を学習テーマ[歩行の科学～速度を織りなす～]の実技、1. ゆっくりペース、2. 普通ペース、3. お急ぎペース、4. ダッシュペース、の4種類の歩行速度で歩数計を着けて歩き、その都度

所要時間、歩数、脈拍数を記録する。歩幅、歩数、速度、脈拍数にはそれぞれ相関がある事の説明を受け、相関係数を求める



事が明日までの宿題となる。家に帰って、最も相関係数の解り易い、歩行速度と脈拍数を、データ分析2の表に入れて解析する。求められた相関係数は0.937、もっと1に近いと思ったが。セクションペーパーを探して、X軸に歩行速度、Y軸に脈拍数をとりプロットしたら、2次曲線的傾向を見せた。

午後、ウォーキング実習で、お互いに同行者の歩く姿勢を注意して観察しながら観音橋から蒔田公園まで往復する。諺に云う「他人の振り



見て、我が振り直せ」が、ここでも当てはまるか。歩き終わって心拍数112、まずまずか。

2日目、予報が外れて、雨の心配がなくなった。

講義は、宿題のチェックから始まる。受講生の一人のデータを課題として講師から解説がある。同じグループの方々のデータの整理と計算を手伝い相

関係数を求める。水銀柱血圧計の使い方の説明を受けて血圧測定の実習に入る。この血圧計は水銀柱を下げる速度を自分の納得できる遅さに調整できるのがよいので私は好きだ。測定値は158/75。グループの人には測定の結果は水銀柱の下げ方次第だと注意する。次に自動血圧計でも測定する。昼食休憩にはいる。



午後は、ストレッチの実習。グループの2人が対になって交互に行う。身体が如何に硬くなっているかを



認識し直す。何種類かの実技が毎日に就寝前に行っている腰痛緩和体操のメニューと一致したのに間違っていなかった

事は収穫だった。

本面接授業を受講出来た事に感謝して筆を置きます。



海老原 修 横浜国立大学教授

## 赤ちゃんに呼ばれた助産師～私の入学動機

目黒 和加子

### 入学の動機

私は産科診療所に勤務する48才の助産師です。

当院には将来、助産師になることを目指している看護学校や看護大学の学生さんがアルバイトに来ていて、そういう学生さんと接するうちに、助産師を育てる事への思いが強くなってきました。

ある時、助産師教育に関わっている知人の助産師がアルバイトで実習指導をしてみないかと声をかけてくれ、その知人の上司と面接をするために履歴書を送ると、「たとえアルバイトであっても学生の指導をするのは大学卒の助産師でなければ時代にそぐわないので。」と言われ、履歴書が送り返されてきました。

私は助産師専門学校卒ですが、分娩介助の経験は950例を超えていました。そんな経験よりも学歴重視とのことでした。「大学卒であれば看護学部でなくても文学部でも経済学部でも水産学部でも何学部でも良い。」とまで言われました。

助産師の職人としての知識、技、経験を伝えていくのに、まず学歴がないとダメということです。これには正直あきれましたが、私が時代に合わせなければならぬことははっきりしました。

通信制の大学である放送大学のことは知っていましたので、急いで願書を取り寄せ、3年次編入のための書類を集め、H23年2学期より入学し、現在に至ります。

仕事と学業の両立をいかにこなしていくか、どのように科目を選んでいくかはKサポートの皆様にご指導を仰ぎ、スムーズに、楽しく学習をスタートできました。

久方ぶりの看護系の放送授業では、私の中にあつた看護観に刺激となり、感動して印刷教材を読みながら涙が出ることも・・・。

夢に向かって一歩、また一歩と学習を積み重ねていくプロセスを楽しみ、放送大学を通しての人の出会いを喜び、充実して日々を送っています。

目黒さんが、これから助産師になろうとする学生さんたちに伝えてゆきたいことの一つに、出産のときに遭遇するふしぎな話のいくつかがあります。そのうちの一つを紹介します。（編集部）

### 赤ちゃんに呼ばれた助産師(その1)

登場人物:鈴木さん(2人目の経産婦)

鈴木さんの夫

梅田看護師

松岡助産師

(全て仮名です)

ここは大阪の下町にある10床の小さな産科医院です。今日は日曜日、日曜日の助産師の勤務はAM9:00～出勤し、赤ちゃんの沐浴や産後の患者さんのケアが終わったら、お産の進行者がいなければ自宅に帰って、翌月曜日のAM9:00までオンコール待機となります。助産師が少ないので人手不足の苦肉の策です。

松岡助産師も午前中に勤務を終え、お産の進行者がいないので後は看護師に任せて自宅に戻りました。夕食後、何気に勤務表を見ると今夜の当直は梅田看護師さんでした。梅田さんは、この医院に勤め始めてまだ1ヶ月経っていない若い看護師さんです。“今日の夜勤の看護師さんは梅田さんかあ。まだ慣れていないからちょっと手伝いに行こうかな。”

PM10:00に医院に戻ってみると医院内は何事もなく落ち着いています。梅田さんは“こんなに落ち着いているのに、なぜ、戻ってきたの?”という顔をしています。せっかく再出勤したので当直室でウトウトすることにしました。

AM4:30 夜が白々と明けてきました。梅田看護師と松岡助産師は詰所でコーヒーを飲んでいました。その時です!「ブザー」と玄関インターホンが鳴りました。

“こんな時間に何だろう”と思いながらインターホンに出てみると、『もう生まれそうなんです!助けて下さい!』と男の人の叫び声がします。“何事?”と2人は1Fの玄関に急いで降りてみると、お腹を抱えてしゃがみ込んでいる女の人とわなわな震えている男の人がいました。

『ここで診てもらっている鈴木です。急に痛みが強くなって電話する間がなかったんです。』と叫んでいます。女の方は追痛表情で言葉も出ません。いきんでいるようです。

松岡助産師:『このまま分娩室に行きましょう。梅田さん、すぐ先生を呼んで!』

鈴木さんの夫と梅田看護師と松岡助産師の3人がかりで分娩台にのせたその時、「バシッ!」と破水しました。急いで下着をとると赤ちゃんの髪の毛が



見えています。そのまま出産しました。

2,520g (女の子)

玄関のブザーが鳴ってから出産まで、1分20秒の出来事でした。

鈴木さんは、子宮が張ってきて予定日より早く生まれそうになってしまう切迫早産気味で昨日までウテメリン(子宮の張り止め)を内服していました。自宅から医院までは車で4~5分ですが、その前日よりいつも通院に使う道路が工事をしている、かなり迂回しないといけないために時間がかかったそうです。

AM4:00過ぎにいきなり強い陣痛で目が覚めて、御主人を起こしたけれどすぐに起きてもらえず、もたもたしているうちに痛みは3分おきになっていたとのこと。

車に乗ってから電話しようとしたのですが、車の揺れで痛みが一層強くなり、いきみも入るようになったと話されていました。

ご主人は、いつもの道が使えなくてあせり、助手席では奥さんが「もう赤ちゃんが出そう！」と言っているし、車内はパニックだったそうです。

梅田看護師 :『もし、松岡さんが院内にいなかったら、どうなっていたかしら。玄関で生まれたりして……。こわ〜い。』

松岡助産師 :『私は、梅田さんがまだ仕事に慣れていないだろうと、心配して来たんやけど。こんな結果になるとは……。』

“仕事に慣れていない梅田さんを心配して来てみたけれど、実は鈴木さんの赤ちゃんをとりあげるためだった。” “Aさんのために準備していたが、実は全く予想もしていなかったBさんのために役だった。” こういうことは、お産の現場ではしばしばあることです。

産道での圧迫をほとんど受けず、すわりと生まれてきた鈴木さんの赤ちゃんは、くつきり二重まぶたの可愛い女の子です。松岡助産師は、この子に呼ばれたような気がしました。

**オープンキャンパス**  
皆様のご参加をお待ちしております!

放送大学神奈川学習センターでは下記の日程でオープンキャンパスを開催します。  
「放送大学についてもっと知りたい!」「入学したいけど手続きはどうすれば良い?」  
など様々なご質問・ご相談にお答えいたします。

大学概要説明・施設見学  
個別相談などを行います

お知らせ  
**8/4(土) 12(日) 18(土)**  
各日 14時~16時

【会場】神奈川学習センター (横浜市南区大岡2-31-1)  
横浜高島町地下鉄「弘明寺」下車 徒歩5分  
京浜東北線「弘明寺」下車 徒歩12分

【お問い合わせ・申し込み】  
神奈川学習センター  
TEL.045-710-1910

**平成24年度10月入学生募集中!**  
【教養学部】【修士科自生・週科生】平成24年6月15日~8月31日  
【修士全科生】平成24年8月17日~8月31日

**個別相談会**  
ご参加お待ちしております!!

事前予約制です!

**8/21(火)~31(金)**  
※8/27(月)を除く  
各日10時~12時 14時~17時

【内容】個別相談・施設見学など  
・学生の選択について・授業科目の選び方は?  
・出願票の記入の仕方・必要書類は?  
・入学から単位取得までの流れは?  
・卒業要件など... ご質問・ご相談にお答えします

【会場】神奈川学習センター  
(横浜市南区大岡2-31-1)  
横浜高島町地下鉄「弘明寺」下車 徒歩5分  
京浜東北線「弘明寺」下車 徒歩12分

**平成24年度10月入学生募集中!**  
【教養学部】【修士科自生・週科生】平成24年6月15日~8月31日  
【修士全科生】平成24年8月17日~8月31日

## 皆さんから愛された吉田昭二さん

松本 道男

昭和60年7月、放送大学の開学とともに発足した神奈川学習センターの学生団体サークル「放友会」の第7代目会長に就任された吉田昭二さんは、平成8年4月から平成18年3月まで会長を務められました。その間、パソコンを楽しむ会の新設・ホームページの開設・インターネット句会のスタートなどを始め、毎年夏に開催している放送大学神奈川学習センターの「フェスタ・ヨコハマ」に囲碁・将棋大会、俳句・川柳大会を発足させ、「フェスタ・ヨコハマ」の学園祭に楽しみの幅を広げられました。

特に囲碁・将棋大会では自らが責任者となり会の運営にあたりましたし、囲碁、将棋、俳句、川柳の入賞景品の購入に当たっては、役員の方々とともに実務的なものを慎重に選んでおられました。

また、放友会の会長になられてから、会員全員の「学習履歴表」を作成、記入して提出させ、入学して何もわからない放送大学生に勉強の仕方を手助けされたアイデアマンでもありました。

そして、坂井素思先生がスタートさせた「神奈川学習センター」の四季だよりでは、最初から編集員を務められ、第1回の編集会議で決った「弘明寺商店街・弘明寺観音探訪」の取材に当たっては、同じく編集委員であった私も、吉田さんと一緒に取材に駆け廻ってご指導を受けました。

一方、放友会の文化事業として平成16年3月に始まった「インターネット句会」では、吉田さんは最初から会員として入会され、途中会員の皆さんに俳号を決めて戴いた時には俳号を「眉山」と名付けられました。「眉山」と名付けられました経緯は何も聞いていませんが、幼少の頃、四国の風光明媚な徳山でお育ちになられ、その思い出の地名を俳号になされたようです。

インターネット句会では毎月の句会の他に、春と秋の2回、吟行句会をしておりますが、第1回の吟行会(平成17年5月8日開催)の場所を何処にしようかと思案しているときに吉田さんより「久良岐公園。三殿台遺跡」を紹介して戴き、第1回目の吟行会はそのルートに決まりました。句材料は豊富で、能舞台まである素晴らしい公園や国指定史跡で縄文・弥生・古墳時代のムラの跡を吟行し、その時の句会では会員の皆さんより沢山の佳句が発表されました。また、インターネット句会第60回終了の時に合同句集を出版することになり、会員の皆さんから集まった全作品を吉田さんがパソコンで印刷から製本まで全てなされ、何事においても労力を惜しまず、皆さんに愛されるお方でありました。

余分なお話ですが吉田さんの俳句の師匠は奥様とお伺いしていました。

吉田さんは放送大学始まって以来のグランドスラムを達成され、新聞に大きく掲載され、報道されたことは皆さんご存じの通りです。奥様のお話によりますと、晩年はとても楽しく勉学をされていたようです。

また、吉田さんは大変ご丈夫なお方でした。平成13年10月に糖尿病で横浜市大病院へ入院後、食事の際にはインシュリンを打ちながらご活動されていましたが、亡くなる直前は神奈川県立汐見台病院に入院なされ、今年の4月22日、まだお話のできる時にお見舞いにお伺い出来たのが最後になりました。『徳譽昭応眉山居士』平成24年5月5日、85歳で亡くなられた吉田昭二さんの戒名です。俳名の「眉山」が戒名に入りました。

謹んでご冥福をお祈り致します。合掌。

(松本 道男 平成10年度卒業生／  
元放友会副会長・現顧問)

## 藤原一繪教授講演会

3月4日(日)午前、神奈川学習センターで、神奈川サークル協議会主催の公開講演会「生命を守るみどりを考える」が開催されました。講師は、神奈川学習センター客員教授の藤原一繪先生。

一番身近な、地元のみどりをどのような視点で見れば自らの命を守れるか?と問う問いかけから、東日本大震災等の現場を調査して、



自然の土地に適合したみどりが災害を防いでくれることなど話され、「センスオブプレイス」を意識してほしいとまとめられた。

午後は、同窓会主催の映画鑑賞会も行われました。サークル協議会では、9月に学園祭「フェスタ・ヨコハマ」を開催します。(詳細は、15ページ)





## 国際交流報告

石橋 正彦

神奈川学習センター(KSC)と隣接する横浜国立大学(YNU)留学生会館(ISC)が国際交流・地域交流という観点から「何か」が出来ないかと考え、語学系サークルとサークル協議会が中心となって6月24日に交流会をもった。事前の打ち合わせで日本文化について知りたいとのリクエストから、折り紙を中心とした日本の遊びをテーマに呼びかけたが、何分にもロータリークラブのように顎足付きではないので、呼びかけに応じたのはユタ州からきたシェリーさん、リトアニアからイギリスへ留学、そこから日本に来たポール君、そして韓国から家族で来ているキムさんの3人だけで、皆日本語会話がとても上手。KSC側からはうえるかむ(4人)、韓国語(3人)と事務局(3人)が参加。濱田センター長も挨拶に。自己紹介の後折り紙(ぴよんぴよん蛙、紙鉄砲)、ぶんぶんコマなどで遊びながら、和やかなうちに



歓談・交流が出来た2時間であった。

ISC(1980年設置)には単身男子室92、単身女子室38、夫婦室10、家族室10、計150室があり、家族を含めて現在160名の留学生と家族が8名の日本人学生と共に居住しているが、その入居期限は1年間で9月にはほとんどが姿を消すとのこと。YNUには留学生用居住施設として他に2施設があるが、YNUの留学生の約2/3は中国・韓国から来ており、その大半は私費留学生で、学費や生活費を稼ぐのに忙しい毎日を送っている由。参加した3名の留学生はそれなりに楽しみ、喜んでいただようであるが、ISCの居住期間が1年と限られ、皆勉強・バイトに追われていることから今後の継続的な交流のあり方については課題が残された。



## 同窓会主催講演会「現代のICT技術について」を聞いて 西尾 まつ枝

私は5月27日に神奈川同窓会公開講演に葛貫先生の“現代のICT技術について”を受講しました。



PCの歴史から実際のSNS概要の講演でした。企業、行政機関や教育分野での簡便かつ敏速な事務処理には不可欠なものだと理解できました。

最近、若者をはじめ多くの人が電車内やホームでスマートフォンを利用している姿を見かけます。流れる画面の小さな文字を目で追いつけて目に支障はないのだろうか、放射能のようにじわじわと脳を汚染していくのではないかと案じるのは私だけなのでしょう。

5月2日の日経新聞に、書家が手で書く機械が失われたことで、細やかな感覚

は鈍り「言葉をつなぐ人間関係が損なわれた」と報道していました。

百歳で亡くなられた新藤兼人さんも「映画やドラマは紙

に字を書くことから出発し、白い紙に黒い字を刻む鉛筆の摩擦音は駆り立てる音楽だ」と云っています。書家の友人も想いは縦に書くことによって続くものと…日本語の縦書きの字を読めない人が増えています。手書きの美しい書体の伝承や人間の完成や感情の伝達が失われないために、ICT発達とともに今何をしたらよいか問われているように思えます。



## 神奈川学習センターが、南警察署の災害時代替施設になります。

6月13日神奈川県南警察署（横浜市南区）にて、放送大学神奈川学習センターと南警察署は、「南警察署使用不能時における施設使用に関する協定」を締結、調印しました。

この協定は、地震、津波などの大規模災害が発生して、南警察署が使用不能な状態になったとき、南警察署の機能を神奈川学習センターに移して活動を続けるためのものです。南警察署の災害対策本部が、神奈川学

習センターの実験室に設置され、災害状況の把握やパトロール拠点としての利用されることなどが想定されています。



浅井南警察署長(左)と濱田神奈川学習センター所長(右)

## 第1回所長主催『研究発表会』

吉川 道子

平成24年6月2日(土)神奈川学習センター第4講義室において第1回所長主催『研究発表会』が開催された。

発表者

木村勝紀 『江戸日本橋町人地の構造と変遷』—「寛保活券図」を題材に—平成22年修士論文

高橋昭善 『相模湾ホンダワラ科藻類誌』—その分布と形態—を中心として—平成23年度卒業研究論文

講義室は満席で立っている人が何人もいたほどの人気だった。江戸時代末期の町人地を題材にした書籍



は珍しく、ほとんどお目にかかれない。日本人にとっては「日本橋」についての感慨はひとしおのものがあ、関心が深い。当時の実物の町人地、寛保活券図は大変貴重な資料でありながら手に入れることの出来たのをおどろいている。東京の道路のルーツを知る思いがする。

『相模湾ホンダワラ科藻類誌』は神奈川県人にとってふさわしい題材であり、この地にこれほど多くの海藻、海草が生育していることを知らない人もいるのではないかと。光合成、分布、分類、内在色素、

生活環境や海域特性そして海藻、海草の見本迄も用意されていたことに感心する。

二作品とも綿密な調査研究による報告はすばらしく、かぎりない努力の賜物と言える。このような発表会は神奈川学習センターの在学生にとって多大な学びとなったことと思う。



研究発表をする木村勝紀さん

(以上、吉川記)

第2回の発表会は、7月1日に、大出 鍋藏『徳川幕府の開国に大きな影響を与えたものは何か』宮田 義美『日本語の数の詞ことば(数詞)、数字の読み方について大数の3桁区切り、4桁区切り』の発表でした。第3回は9月の予定(13ページ参照)

### OUJ神奈川学習センターだより編集部

赤松、家田、入江、遠田、笠井、吉川、木下、宮崎、三國、和田

(50音順、以上、K-サポート機関紙編集チーム)

垣谷(K-サポート事務局)

石塚(学習センター事務局)

カット絵は、よーこさんの作品です。



## 学生研修旅行のご案内

平成24年度神奈川学習センター「学生研修旅行」について

研修テーマ: 東海道 — 箱根磨崖仏と製紙の街を訪ねる —

日時: 平成24年10月12日(金) 8:30~17:40

※雨天決行 横浜駅西口天理ビル前 8:20集合、18:00解散(予定)

研修場所: ①神奈川県箱根町 元箱根石仏・石塔群/箱根神社 ②静岡県富士市 王子製紙グループ企業 募集人数: 35名(抽選)

申込受付: 7月22日(日)~8月1日(水)(閉所日を除く)神奈川学習センター事務室窓口にて

参加費: 当選者は8月15日(水)~8月29日(水)(閉所日を除く)の期間中に参加費1,000円をお支払いください。

## Kーサポートからのお知らせ

### ○学習相談チーム

Kーサポートの学習相談、2012年度第2学期は、**10月21日から12月16日までの土曜日と日曜日、午後1時から午後3時50分の間、2階、談話室の相談コーナー**で行います。予約は不要です。放送大学での学習に関して困っている点に限らせていただきますが、まずは気軽に何でも相談にきてください。また、12月上旬に提出する「通信指導」についても、助言や指導いたします。

### ○地域連携チーム

- 会主催のウォーキングは5年目を迎え、「いざ鎌倉」シリーズの第2回目。今年は11月3日に開催します。
- コースは金沢・六浦津から朝夷奈切通を抜け、鎌倉・浄妙寺。
- ウォーキングの応募は9月から受け付けます。

### ○Kーサポート事務局

《サポーターを募集しています》

Kーサポートは、活動に取り組むサポーターを年間を通じて受け付けております。神奈川学習センターの在学生(大学院生を含む)、卒業生(修了生を含む)であれば、どなたでも応募可能です(<http://www.u-air.net/kc/>)。ksupport@ouj.ac.jp (Kーサポート事務局)までご連絡ください。また、学習センター事務室窓口で「Kーサポート 登

録申込書」を受け取り、記入してご提出いただく方法もあります。お問い合わせやご応募をお待ちしております。

事務局 垣谷江里子

## 研究発表会等のご案内

### ○第3回所長主催『研究発表会』

とき 9月8日(土) 13:30~16:00

「鳥海山縁起の世界」

「帰国生の日本の学校への適応」

### ○ライフサイエンスサロン

とき: 9月29日(土) 13時~17時

ところ: 神奈川学習センター第7講義室

- ・『ウイルスは生き物?』
  - ・『ウイルス防御の進化論的研究』
  - ・二河 成男 准教授 『(仮)ウイルスとは何か?』
  - ・皆でウイルス談義with星元紀客員教授・松本忠夫教授
- 主催: 生命環境科学研究会  
 詳細&事前申込(参加無料、事前予約優先、当日申込OK、)045-222-3117(代理受付(株)キーストーンテクノロジー)e-mail: [lifeenvouj@livedoor.com](mailto:lifeenvouj@livedoor.com)  
<http://kokucheese.com/event/index/34476/>

## 学生サークルからのお知らせ

### ○神奈川放友会

今年度最初の例会を6月24日に大岡地区センター会議室で開催しました。4月に23名の新会員会員を迎えましたので、昼食会を兼ね、学習に関する情報交換をテーマとしました。大学のホームページから学習情報の入手方法の説明、専攻別小グループで講座内容や勉強の進め方の紹介など、活発な意見交換が行われました。この情報交換会は後期新入会員を迎える10月の例会でも実施予定です。

放友会に関するお問い合わせ

e-mail info@kanagawa-hoyukai.jp 高橋照夫

### ○韓国語同好会

★7月は7日(土)第3講義室 14日(土)第4講義室です。今月は認定試験がありますので第1、第2土曜日です。

★7月の例会から時間編成が次のようになります。

10:00～11:30 中級クラス ハングル学習  
11:30～12:30 親睦会(話し合い)・昼食タイム  
12:30～14:00 初級クラス ハングル学習  
13:00～15:00 自主学習 童話”サランバンソ  
ンニムとお母さん”

★活動の様子は下記のHPをご覧ください。

<http://www.hangugo-club.org>

★問合せ:村田(09-05797-9418)

[murata@hangugo-club.org](mailto:murata@hangugo-club.org)

### ○拡大かながわレク・サークル

★パソコン部:個人のニーズに応じた学習。

学習日時:第2、第4木曜日 13時30分～15時30分。

場所:神奈川学習センター 実習室:申込制

★ウォーキング部:月1回、「東海道五十三次」実施中。名所旧跡文化 施設等も対象

★その他観劇、観光、映画、美術鑑賞等。

上記の各種活動はいずれも自由参加。

—会員募集中(随時申込・受付)—

問合せ:島田 義治 Tel 090-3907-8384

E-mail simada.yosiharu@coral.plala.or.jp

### ○人間学研究会

1. 例会の予定(いずれも午後1時開会)お問い合わせ・参加申し込み:安田武夫TEL045-775-0879

毎月1回会員の研究発表、ワークショップ等を開催しています。本誌発行時点で、開催決定した企画はありません。日程等は、上記までお問い合わせください。

2. 歩きましょう

(お問い合わせ:大出鍋蔵 TEL046-841-7937)

本誌発行時点で、開催決定した企画はありません。企画等は上記までお問い合わせください。

### ○中国語学習会

☆学習日:第一、第三日曜日

☆学習時間:10時～12時 中級(告旭平老師)  
13時～15時 初級(楊雪老師)

我が国の文化、言語などに影響を与えた国、近くて少し距離感のある国、難しいことはさておき純粋に中国語と会員間の親睦のイベントなどを楽しんでいる会です。

学習日にぜひ見学にいらしてください。

☆連絡:万場(まんば)由美子

(046-293-5521)

### ○うえるかむKanagawa

我々が学んでいた英会話講師のRichard先生がこの7月に帰国された。彼から学んで早や4年、英会話ではない部分～指導者プロのありかた～も教えられたと思う。

第一はわが国の歴史、文化への理解度の深さ、さらに民族性をも理解しようとし、その知識力は時に我々以上であった。第二は指導の適切さであるが、学習者の状況を知り、意欲化、継続化を促す事にある。我々には学力差があるが、彼は相手の学力だけでなく心理をも読み取り指導をする。相手に劣等感を課さずに継続心を培い、なかなかのプロフェッショナルである。今改めてノートを開き学んだ過程を省みている。しばし接した外国人指導者として心に残る先生であった。 高橋昭善記

☆ウェブサイト

<http://welcome-kanagawa.jimdo.com/>

☆問い合わせ・・・星(045-844-9647)

[reikosunflower@yahoo.co.jp](mailto:reikosunflower@yahoo.co.jp)



## ○ダンスサークル (社交ダンス)

レッスン日 毎月第2火曜日と第4火曜日  
 時間 午後2時～4時  
 費用 年会費 入会時に1000円(以後毎年4月に1000円一回のみ) レッスン料 月1500円  
 場所 第7講義室  
 その他 全科履修生は体育実技(1単位)を取得できます。  
 昨年のフェスタに続き今回も会員によるダンスパフォーマンスをいたします是非ご覧ください！  
 ご自由に参加いただけるフリータイムもあります。  
 ご一緒に Shall we dance?  
 お問い合わせ 放送大学ダンスサークル 宮川  
 Tel 045-933-9753

## ○神奈川合唱団

楽しく一緒に唱いましょう。  
 今年、学位記授与式にNHKホールにて学歌を唱いました。発声法に特に力を入れた指導を受けています。また“歌声喫茶”を設け仲間との親睦を深めています。気軽に見学においで下さい。  
 場所 大岡地区センター(神奈川学習センターの向い側)  
 第1、第3水曜日 午後6時～8時30分  
 連絡先 家田 0466-34-7545  
 赤松 044-288-0655

## ○資格取得研究会

看護・福祉分野のキャリアアップや進学・就職を目指す集まりです。現在、看護学士と放送大卒を目指す方、看護師試験を受ける方、医療関係、福祉関係のキャリアアップや認定心理士を取られる方などで構成されています。内容は例会(情報交換)と講演会の聴講、見学会など。  
 これからの例会予定  
 ・8月10日(金)18:00 懇親会(学外にて)  
 ・9月 2日(日) 学習センター学園祭に参加。  
 ・10月8日(日)15:30 学習センター講義室未定  
 会費: ¥500(1年間)  
 ホームページ…<http://shikaku.yumesora.net>  
 お問い合わせ…080-5546-7913(はこぎき)

## 神奈川同窓会だより

☆ 毎週第3水曜日午後に行っています「弘明寺サロン」、6月は高橋榮輔さん(千葉学習センター)による『越前 松平春嶽』についてのスピーチがあり、参加者からはいろいろな角度からの質問や発言がありました。

☆8月の「弘明寺サロン」は、藤井輝さんの“幕末の浦賀”(仮題)についてのスピーチが予定されております。  
 会員の皆さんの参加をお願いします。

☆これまでの「弘明寺サロン」で話題となったのは、「古文書」「鉄道」「幕末の日本のフランス語習得」「洋紙」「品川宿」「ネズミ以外の動物」などです。

なお、この「弘明寺サロン」は一般の方の参加も歓迎です。7月はお休みですが、次回は8月15日の予定

## 放送大学神奈川学習センター学園祭 フェスタ・ヨコハマのご案内

とき:2012年9月2日(一部行事は、9月1日)  
 ところ:放送大学神奈川学習センター  
 記念講演「六波羅幕府・福原幕府、そして鎌倉幕府」講師: 本郷 和人 東京大学教授  
 10:00～12:00  
 親睦交流パーティ 12:30～15:00  
 (俳句川柳大会、福引き、模擬店等もあります。)  
 記念講演・パーティとも参加券(¥1,000)が必要です。単位認定試験期間中神奈川学習センターロビーに設置される参加券頒布コーナーでお求めください。

9月1日は、大岡寄せ、歌声喫茶、ダンスの実演などあります。

問い合わせ  
 080-5546-7913  
 (広報担当  
 はこぎき まで)



## 学習センターからのお知らせ

### ◆ 学生募集について ◆

学ぶ喜びをより多くの方々に知っていただきたいと思い皆様のご家族・ご友人・知人に放送大学の魅力や利用方法をご紹介下さるようお願いいたします。

【平成24年度第2学期入学(10月入学)の教養学部生、大学院修士選科・科目生】

募集要項配布期間:6月15日(金)~8月31日(金)

出願受付期間 :6月15日(金)~8月31日(金)

【平成25年度第1学期入学(4月入学)の大学院修士全科生】

募集要項配布期間:6月15日(金)~8月31日(金)

出願受付期間 :8月17日(金)~8月31日(金)

※オープンキャンパス 8月 4日(土), 8月12日(日),  
8月18日(土)

各日とも午後2:00~4:00に開催。

個別相談会 8月21日(火)~8月31日(金)【(月)を除く】

各日とも:午前10:00~12:00、午後2:00~5:00に開催(予約制)

~皆様の多数の参加をお待ちしています~

ご家族・ご友人・知人の方を「神奈川学習センター」にご紹介下さい!

### ◆ 科目登録申請について ◆

平成24年度第2学期の科目登録申請は下記のとおりです。登録を忘れないようご注意ください!!

申請期間:平成24年8月13日(月)~平成24年8月31日(金)

対象学生:平成24年度第2学期に引続き学籍がある方

注意事項:◎在学生の次学期の科目登録(放送授業及び面接授業)申請です。

入学(出願)手続きとは申請期間が異なります。

◎インターネットでの科目登録も可能です。詳細は、「科目申請要項」をご確認下さい。

### ◆ 特別聴講学生募集について ◆

放送大学(神奈川学習センター)では、横浜国立大学と放送大学とが相互に単位を互換する協定を結び、双方向による単位互換を実施します。

これにより、放送大学の学生(全科履修生)は、単位互換協定を締結している横浜国立大学の授業科目を履修することができ、修得した単位は、放送大学の単位として認定されます。

平成24年度2学期(後期)の募集については7月以降に神奈川学習センター掲示板・ホームページで周知いたします。

